

5 経営課題別の達成状況評価

様式5

【経営課題3:投票率の向上】

○評価結果の総括

内容	経営課題全体としての評価結果の総括
とくに若年層を対象とした選挙啓発活動の充実	大学における出前講義を継続し、さらに小中学生を対象に啓発ミニ講座等のヘッドスタートプログラムも充実させていき、若年層投票率の向上に寄与する。

[戦略3-1:若年層対策]

○戦略と具体的取組の一体的評価

戦略と具体的取組の一体的評価と課題	(※1) 対応方向
ミニ啓発講座を市内小学校2校で実施、大学の出前講義も2校で実施でき若年層の投票率の向上に向け進んでいる。	今後も事業を継続し、アイデアの収集にも努めていく。さらに啓発ミニ講座の実施校を増加させるため、基本パッケージを作成し、区選管主体でも実施できるようにする。

○戦略の達成目標(アウトカム)の進捗状況

戦略	戦略の成果・目標達成状況	評価結果(※2)							
若年層の投票率の向上を図るため、ヘッドスタートプログラムなど学校等の協力を得て事業を実施する。	小学校において啓発ミニ講座を開き、模擬投票、ポスターコンクールの依頼を行い実施校における応募が飛躍的に増えた。 (実施校における応募者数) 平成21年度 15名→平成22年度 93名 目標の達成 1.15%縮まった。	B							
達成目標(アウトカム) 本市平均投票率と20代・30代の投票率の差を1%縮める。	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">19参議院 (差17.52%)</td> <td style="text-align: center;">20・30代(37.54%)</td> <td style="text-align: center;">22参議院 (差16.37%)</td> <td style="text-align: center;">20・30代(39.18%)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">市全体(55.06%)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">市全体(55.55%)</td> </tr> </table>		19参議院 (差17.52%)	20・30代(37.54%)	22参議院 (差16.37%)	20・30代(39.18%)	市全体(55.06%)		市全体(55.55%)
19参議院 (差17.52%)	20・30代(37.54%)	22参議院 (差16.37%)	20・30代(39.18%)						
市全体(55.06%)		市全体(55.55%)							

○具体的取組の業績目標(アウトプット)の達成状況

番号	取組内容	業績目標(アウトプット)	取組実績・目標達成状況	評価結果(※3)	課題	改善策
①	低予算できめ細やかな啓発の実施 【23 2-1-1】	職業体験、社会見学、選挙物品の貸出し、ポスターコンクールの依頼等の際に啓発ミニ講座を行う。案を作成し、まずは2区以上をモデル区として実施する。	夏休み前に市内小学校1校に対し、ポスターコンクールの依頼を含め模擬投票も実施し啓発ミニ講座を実施した。さらに、年明けに市内小学校1校に対し、模擬投票を実施し、ミニ啓発講座を実施した。	②	ポスターコンクールの依頼を考えれば、夏休み前の実施が効果的である。	年度初めに計画を練り、夏休み前に啓発ミニ講座を実施する。
②	選挙権年齢の引き下げ等の制度改正に向けた対応 【23 2-1-2】	区をまじえた検討会において、制度改正を見据えた今後の啓発のあり方について検討する。	大学における出前講義を2校で行い、そのなかで学生から意見を聴き、レポートを提出してもらった。係長検討会で議題にあげ検討している。	②	選挙権年齢の引き下げ等の制度改正に特化せず、若年層の投票率の向上を目的とすべき。	大学における出前講義を継続し、若年層投票率の向上に効果的な新しい手法の啓発を考える。

(※1)

- ◆戦略と具体的取組を一体的評価したうえでの今後の対応方向
  - ア:業績目標を達成し、見込んだ成果も得られており、今後より一層効果的・効率的に取組を実施していくことが必要
  - イ:業績目標が未達成の取組があり、見込んだ成果も得られていないため、取組の改善・見直しが必要
  - ウ:業績目標を達成しているのに、成果が得られていないため、実効性のある取組への見直し・再構築が必要
  - エ:業績目標が未達成であるのに成果が得られており、達成目標のあり方や取組の有効性・必要性の検討が必要
  - オ:環境変化等により、戦略・取組の抜本的な見直しが必要

(※2)

- ◆戦略の達成目標(アウトカム)の進捗状況
  - A:期待を上回る成果が得られている
  - B:概ね期待どおりの成果が得られている
  - C:期待する成果は得られていない
  - D:環境変化等の影響を受け、戦略を遂行する必要性が薄れている

(※3)

- ◆具体的取組の業績目標(アウトプット)の達成状況
  - ①:目標を大きく上回る達成
  - ②:目標を概ね達成
  - ③:目標が達成できなかった
    - (i) 取組は予定どおり実施したが、結果として目標を達成できなかった
    - (ii) 課題が生じ予定した取組を実施できなかった、または進捗が遅れている
    - (iii) 環境変化等の影響を受け、取組の優先度が下がり、取組を遂行する必要性が薄れた